

履修ルールは、教育課程表のページで必ず確認すること。開設学期は変更されることがある。

保育学科 学位授与の方針にかかげる学習目標

- 1 建学の精神が掲げる道徳理念を踏まえた社会人たるに相応しい倫理観、責任感と自己管理能力を備えている。
- 2 現代社会にかかるさまざまな事象をとらえる国際的かつ複眼的な視野、そして他者と円滑にコミュニケーションをはかる能力を兼ね備えている。
- 3 保育者としての強い使命感と教育的愛情をもち、行動で示すことができる。

		1 年次		2 年次		備考	
		前期	後期	前期	後期		
【基礎科目】 教養と健康増進のための知識と技術を身につける		ホスピタリティ論／心理学／倫理学／現代の教育／国際文化論（異文化理解）／地域文化論／情報メディア論／自然と生活／現代社会のしくみと生活／統計学		法学（日本国憲法を含む）／体育講義／体育実技			
		英語Ⅰ／ロシア語Ⅰ／中国語Ⅰ	英語Ⅱ／ロシア語Ⅱ／中国語Ⅱ				
【専門教育科目】 保育者としての専門的な資質能力を身につける	「基礎演習科目」：建学の精神と、社会人としてのマナーや言葉の使い方など、保育者としての基礎的な知識・技能・態度を身につける	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	キャリアデザインⅢ			
		社会人のマナー演習					
		国語表現法Ⅰ		国語表現法Ⅱ			
		情報基礎（基礎科目）	保育のための情報技術				
	「本質・目的に関する科目」：保育・幼児教育を何のためにするのか、そしてどのような考え方で行うものなのか、保育者としての視点を養う	保育原理	教育原理（幼）	教職論（幼）			
		社会福祉	子ども家庭福祉	子ども家庭支援論			
		社会的養護Ⅰ					
		保育と発達の心理学		子どもの理解と援助			
	子ども家庭支援の心理学						
	「対象の理解に関する科目」：保育・幼児教育の対象となる子どもや保護者などを理解するための考え方や方法を身につける		子どもの保健／子どもの食と栄養				
			教育課程論				
			保育内容総論				
			子どもと健康		保育内容「健康」の指導法		
	「内容・方法に関する科目」：保育・幼児教育を実践するための内容や方法を身につける		子どもと人間関係		保育内容「人間関係」の指導法		
			子どもと環境		保育内容「環境」の指導法		
			子どもと言葉		保育内容「言葉」の指導法		
			保育内容「音楽表現」の指導法	子どもと表現Ⅰ（音楽）	子ども総合表現演習／造形表現演習Ⅰ・Ⅱ		表現プログラム
			子どもと表現Ⅱ（造形）				
			保育内容「造形表現」の指導法				
			保育のピアノ演習Ⅰ		保育のピアノ演習Ⅱ	保育のピアノ発展演習	
					子ども文化表現演習		文化プログラム
					子どもと表現Ⅳ（文化）		
			絵本学				
			子どもと表現Ⅲ（身体）		子ども身体表現演習／ジュニアスポーツ特講／子ども運動あそび（ジュニアスポーツ演習）		運動プログラム
			特別支援教育（幼）／障がい児保育		知的・発達障がい児保育実践論／ユニバーサル・コミュニケーション（手話・点字含む）／病棟保育		ユニバーサルプログラム
					幼児教育方法		
			乳児保育Ⅰ	乳児保育Ⅱ			
			社会的養護Ⅱ				
					子どもの健康と安全		
					幼児理解と教育相談		
					児童館・放課後児童クラブⅠ・Ⅱ		
					在宅保育論		
					健康科学基礎		
	「実習・演習科目」：保育者としての現場での実践的指導力を養いつつ、自分の保育者としての適性や保育者になる意思を自ら確認する		保育実習指導Ⅰ（保育所）（１年後期）⇔保育実習Ⅰ（保育所）（１年次２月）		保育実習指導Ⅱ（保育所）（２年前期）⇔保育実習Ⅱ（保育所）（２年次８～９月）		
			【AB組】保育実習指導Ⅰ（施設）（１年後期）⇔保育実習Ⅰ（施設）（１年次２月）		【CD組】保育実習指導Ⅰ（施設）（２年前期）⇔保育実習Ⅰ（施設）（２年次８～９月）		
					保育実習指導Ⅲ（施設）（２年前期）⇔保育実習Ⅲ（施設）（２年次８～９月）		
			幼稚園教育実習指導（１年後期）⇔幼稚園教育実習（観察）（１年次１１月）		幼稚園教育実習指導（２年前期）⇔幼稚園教育実習（責任）（２年次６月）		
					専門ゼミⅠ	専門ゼミⅡ	
					保育・教職実践演習（幼）		